



延長コードが古くなっていませんか？

11月11日は配線器具の日だそうです。2口コンセントのプラグ差込口の形状を、11月11日の2つの「11」でイメージするためです。

JEWA日本配線システム工業会によると、延長コードの寿命は3～5年だそうです。引っ張って抜き差しする、束ねて使用する、家具などで挟んで使用するなどといったコードに負荷がかかる使い方をすると、更に寿命が短くなってしまおうそうです。

適切な使い方をしても長く使ううちに電圧が低下することがあります。ミンテンテックでもお客様からの依頼で水素発生器を修理した際に、延長コードを交換することで電流電圧が正常になったという事例があります。この場合、延長コードに問題がないかのように見えても、実は電圧が低下していたと考えられます。古くなった延長コードを更に使い続けると劣化が進み、内部で断線して発火の原因になります。

壁のコンセントに直接接続するのが最も良いのですが、延長コードを使わざるを得ない場合も多いと思います。延長コードの交換目安は、プラグの根元が変形したり焦げたりしている、延長コードを動かすと電源が消えたりする、差込口やコードに破損や傷がある等の状況が見られた時です。この機会にぜひ一度ご確認ください。



かける 日本食への関心を高める 食×プロジェクト



食かけるプロジェクト



松川町ホームページより

農林水産省では訪日中に食に関わる体験をした外国人が、帰国後も本国にいながら日本の食体験ができるような環境整備を図る「食×プロジェクト」を実施しています。

例えば、食×芸術、食×歴史と文化、などのように日本食への関心を高め、日本産農林水産物・食品の輸出拡大につなげていくことを目的にした取り組みです。

また、食×プロジェクトでは2020年より毎年「食かけるプライズ」を実施し、国内の食とアート・歴史等の異分野を組み合わせた体験事例を表彰しています。2023年は全国から108件の応募があり、長野県下伊那郡松川町の果樹園の中のレストランが大賞を受賞しました。古くから果物の生産で有名な松川町では、生産者と共に果樹園を散策しながら町の果樹の歴史や果物づくりの話を聞き、果樹に囲まれながら地元の食材や果物を使った美食コース料理を楽しむことができます。

大賞以外では愛知県味噌蔵で音と香りを感じながら、音楽を聴かせて熟成を促した味噌と通常の熟成による味噌の食比べ体験や、南アルプスでの天然肉狩猟ツアーなど、芸術や文化と融合した7つの食体験プログラムが「食かける賞」を受賞しました。

食かけるプロジェクトホームページ <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/eatmeet/syokukakeru.html>

MINTECH消耗品のお求めはAmazonで！

ミンテンテック



Amazonで検索



編集後記

地球温暖化対策として、冬も省エネを心がけたいものです。

全オフィスで消費電力の1%を節電すると、家庭約10万世帯が毎日消費する電力が削減できるそうです。

オフィスなどで節電効果が大きいのは空調温度を低く設定することです。しかし、人によって体感温度に違いがあります。寒いと感じる人は重ね着などで調節することが必要です。

不要な照明の消灯や、使用していないOA機器の電源オフなども節電効果は大きいので、ぜひ実行したいですね。



MINTECH
水素発生器
MT-A100



MINTECH

株式会社ミンテンテック

〒136-0071

東京都江東区亀戸1-38-6-1501

TEL 03-5812-4560

FAX 03-6284-2257

E-mail: info@mintech.ne.jp

<https://www.mintech.ne.jp/>